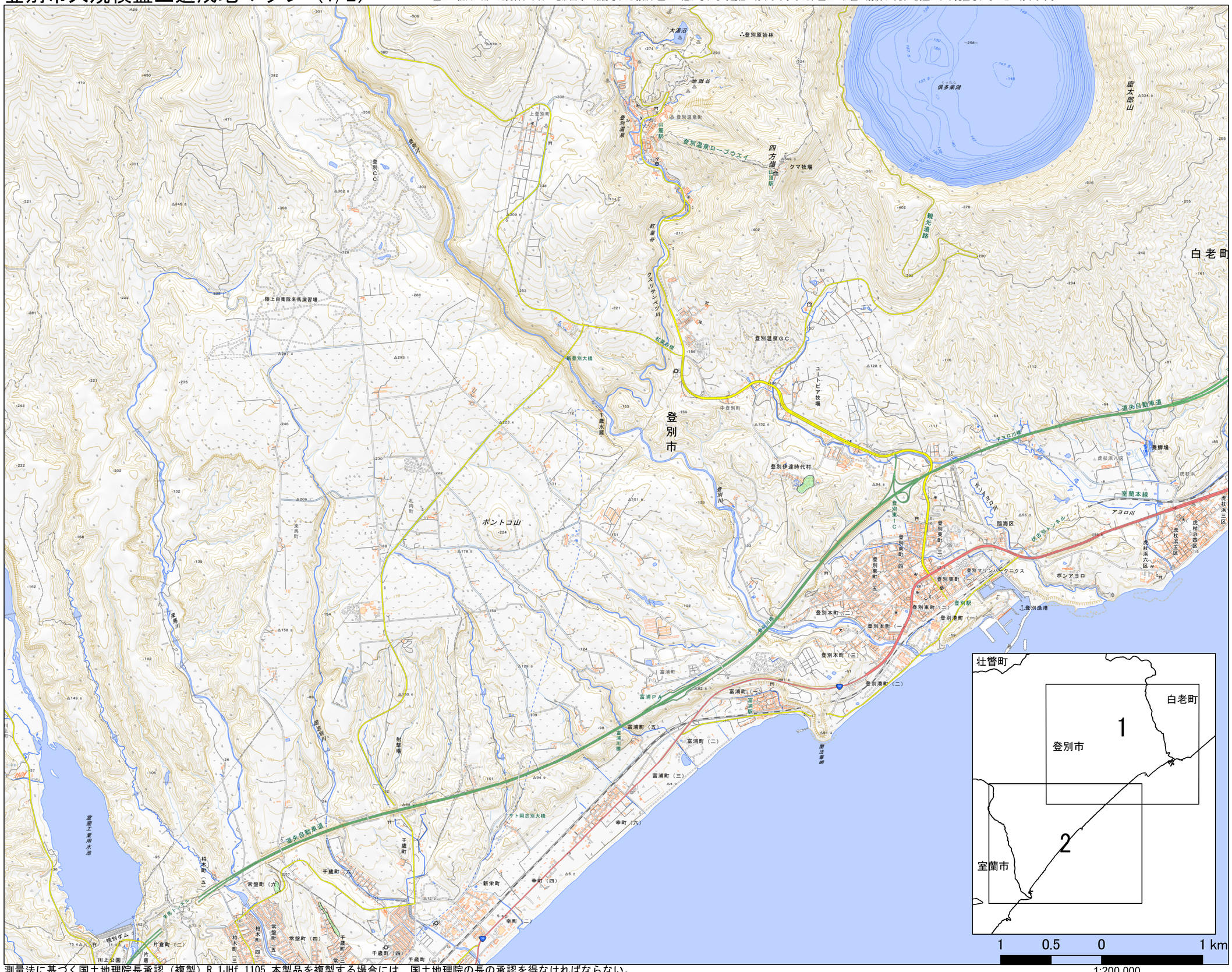
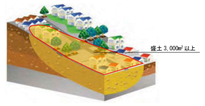
登別市大規模盛土造成地マップ（1/2）

本マップは造成前後の地形の変化をもとに抽出した盛土を表示したものです。
造成前の地形は昭和33年の国土地理院発行1/25,000旧版地形図を用いています。なお一部地域は造成前の地形が確認できる昭和44年の大縮尺地形図、昭和28年、30年撮影の空中写真を用いています。
造成後の地形は国土地理院の2019年時点最新の電子地形図（タイル）および平成21年取得の基盤地図情数値標高モデル（5mメッシュ）を使用しています。なお一部地域は造成後の地形が確認できる平成30年の大縮尺地形図を用いています。
盛土の抽出に用いた資料より古い地形図等が確認された場合、盛土が追加される可能性があります。また、盛土の位置・規模は今後の調査により見直されることがあります。

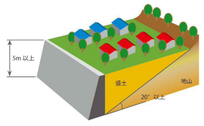


このマップは、大規模盛土造成地のおおよその位置及び種類を示したものです。
マップに示されている位置が必ずしも地震時に被害が発生して危険というわけではありません。

・谷埋め型
　谷を埋め立てた宅地で盛土の面積が3,000㎡以上の盛土造成地



・腹付け型
　傾斜地盤上に盛土した宅地で、盛土する前の地盤面の傾斜が20°以上かつ、盛土の高さが5m以上の盛土造成地



凡例

大規模盛土造成地

- 谷埋め型
- 腹付け型

2019年度作成

測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 1JHf 1105 本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。
測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 1JHs 989